

報道発表資料  
令和5年2月14日  
国立国会図書館

## 国際子ども図書館展示会「「東洋一」の夢 帝国図書館展」 開催のお知らせ



国立国会図書館国際子ども図書館では、令和5年3月28日（火）から7月16日（日）までの期間、展示会「「東洋一」の夢 帝国図書館展」を開催します。

国際子ども図書館のレンガ棟は、明治期に帝国図書館として建てられた建物を、リノベーションして活用しています。この展示会は、建築を軸として国際子ども図書館の歴史を紹介する展示の第2弾です。今回の展示では、「東洋一」の図書館を目指して建設された帝国図書館の存在そのものに焦点を当てます。

【お問合せ先】 国立国会図書館 国際子ども図書館  
企画協力課 03-3827-2041（直通）

### 【展示会開催概要】

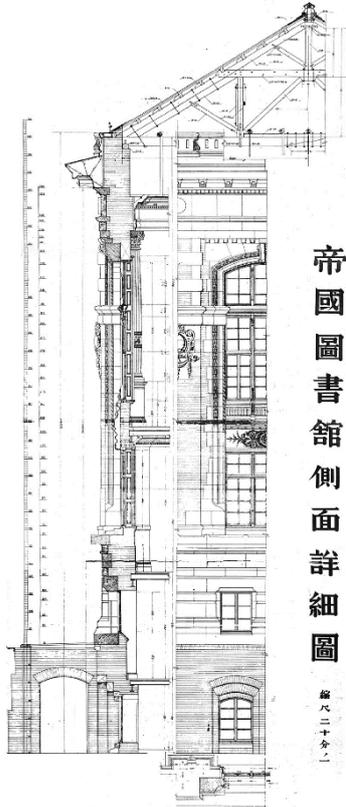
会 期	2023（令和5）年3月28日（火）～7月16日（日）
開 館 時 間	9時30分～17時
休 館 日	月曜日、国民の祝日・休日（5月5日こどもの日は開館）、 毎月第3水曜日（資料整理休館日）
会 場	〒110-0007 東京都台東区上野公園 12-49 国立国会図書館国際子ども図書館 レンガ棟3階 本のミュージアム
入 場 料	無料
そ の 他	開催予定が変更になる場合があります。最新情報については当館ホームページでご確認ください。
ホームページ	<a href="https://www.kodomo.go.jp/event/exhibition/tenji2023-01.html">https://www.kodomo.go.jp/event/exhibition/tenji2023-01.html</a>

※報道に際して国立国会図書館国際子ども図書館の名称を表記する場合は、「国際子ども図書館」のように略さずに「国立国会図書館 国際子ども図書館」と表記していただくよう、お願い申し上げます。

**【展示紹介】** ※以下に掲載している画像をご提供できます。掲載をご希望の場合はお問い合わせください。

## ◆帝国図書館の歴史がわかる

帝国図書館の設計図や当時開催された展示会の資料などから、帝国図書館の夢と歩みをご紹介します。



帝國圖書館側面詳細圖

第八十卷二



▲国際子ども図書館レンガ棟 前景（上）

◀帝国図書館増築工事設計図 帝国図書館側面詳細図（左）  
帝国図書館は中庭を囲む口の字型の建物になる計画でした。増築工事が重ねられましたが、国の財政難のため、完成に至りませんでした。この図面は、昭和期に行われた第2期増築工事に際して作成されました。



▲『広重東都名所 不忍之池全図 中島弁財天社 清水観音堂花見 上野山王山』一立斎広重 鳥屋吉蔵  
1929（昭和4）年に増築部分が竣工したことを記念して、翌年に展覧会が開催されました。当時の展示資料から、その一部をパネルで紹介します。

## ◆帝国図書館にまつわる文学者を紹介

芥川龍之介、江戸川乱歩、宮沢賢治など、帝国図書館には、後に文学者として活躍することになる人物が数多く訪れました。帝国図書館にゆかりのある文学者たちを、当時の図書館との関わりに触れつつ紹介します。

## ◆展示会会場を撮影できる

展示会会場の「本のミュージアム」は、帝国図書館時代、「普通閲覧室」として使用されていました。室内にも帝国図書館時代の趣が感じられる見どころがあります。普段は撮影不可としている本のミュージアム内を、展示会会期中は自由に撮影することができます。



### ▲本のミュージアムの見どころ

左側の画像は、室内と書庫とをつなぐ出入口にある木製建具です。この木製建具は、エディキュールと呼ばれています。エディキュールは、「小さな神殿」を意味しています。

右側上の画像はエディキュールを挟むコリント式オーダーの柱の頭部にある漆喰装飾、右側下の画像は天井の漆喰装飾です。

いずれも、改修により、帝国図書館創建当時の姿に復元されました。なお、エディキュールの左側の扉からは、館内で唯一、レンガ棟建物の構造体に使われている100年以上前の赤レンガを見ることができます。

## 【関連イベント】

スタッフによるギャラリートーク（展示解説）を予定しています。詳細は国際子ども図書館ホームページ等で順次お知らせします。